

●生物部

☆第五一回日本学生科学賞

県審査会

県議会議長賞 読売新聞社賞

中央審査会(全国大会)

入選三等

「アサガオの染め分けと花弁の変異の研究(花の色と形)」

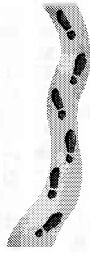
- 佐藤 映理(三の七)
- 渡辺 南(三の七)
- 日向 佑介(一の五)
- 中島 瑛平(一の五)
- 戸鞠 寛紀(一の三)
- 生井 雄示(一の三)
- 広瀬 優也(一の七)
- 北島 知明(一の五)
- 小林 史佳(一の五)

●国語関係

☆茨城県読書感想文コンクール

入選

- 程塚 裕介(二の五)
- 原田 千里(一の二)
- 北島 知明(一の五)



●文芸部関係

☆第二回全国高校生短歌会

(短歌甲子園) 盛岡



生物部 表彰式にて

下館税務署管内租税教育
推進協議会長賞

長谷川 恵理(一の二)

☆税に関する高校生の作文
コンクール

下館税務署長賞

青柳 由衣(一の七)
佐藤 可織(一の五)

団体戦 準優勝
団体戦
梓田彩乃(三の四) 先鋒
(雨よりも台風よりも恐ろしい成績表と母の雷)

団体戦
梓田彩乃(三の四) 先鋒
(雨よりも台風よりも恐ろしい成績表と母の雷)

☆第十回全国高校俳句選手
権大会(俳句甲子園)

団体の部

上形 智香(二の二)
(青葉くすくす公式の逃げ
て行く) その他

藤貫 知美(三の五)

(つま先に青葉の影の居座
れり) その他

☆平成十九年度茨城県高等
学校文芸部中央大会

(数学で私の軌跡を求めた
らあなたの軌跡と交わる
かしら)

(上の空あなたの視線が欲
しくてちよっと引っ張
るYシャツの端)

廣澤 芳恵(三の三)
(歯磨きのチューブ出し切
る青葉風) その他
仁平 朱美(三の三)
(送信のボタンは軽し青葉
風)
その他

俳句の部 優秀賞
大和田 沙貴(二の二)
(雲の峰わたあめ溶ける口
の中)
短歌の部 優良賞
安生 美穂(二の五)
(消しこむが小さくなるに
伴ってふくらんでゆく君
への想い)

☆第八回若山牧水青春短歌
大賞 佳作賞
篠原 理江(三の二)
(ひようきんなあなたの目
線が欲しくてちよっと
引っ張るYシャツの端)

☆第二十回学校対抗俳句の
甲子園

優勝

梓田 彩乃(三の四)
(トースターぽんと跳ね上
げ秋高し)
篠原 理江(三の二)
(のどあめを転がし鳴らす
小春かな)

大和田 沙貴(二の二)
(悔いのない人生なんてしゃ
ぼん玉ふわふわ揺られて残
らぬ軌跡)

☆第二十二回国民文化祭・
とくしま二〇〇七文芸祭
短歌大会
高校生の部
仁平 朱美(三の三)
特選
(世の中の淋しさなんて知
らないと傍らに添う首輪
のない猫)
秀逸
(板ガムに私の中の理不尽
を詰め込むように緩やか
に嘔む)

☆芭蕉蛤塚忌全国俳句大会

大垣市長賞

梓田 彩乃(三の四)
(初恋の端をかじって青林
檜)

梓田 彩乃(三の四)
(空と海触れ合っている水
平線一つに溶け合う夏色
絵の具)「ありがとう」
「さいました」が「ありが
と」に変わって気付いた
距離の縮まり)

☆平成十九年度茨城県芸術
祭参加短歌大会高校生の部
佳作賞
上形 智香(二の二)
(タンジェントサインコサ
イン消えていく数学結構
好きなんだけど)
篠原 理江(三の二)

廣澤 芳恵(三の三)
(カンバスに入りきらない
青葉山)

渡辺 ちひろ(二の七)
(クラス替え運の悪さを恨
んでは見つめる背中のい
ない教室)

秀作賞
上形 智香(二の二)
(タンジェントサインコサ
イン消えていく数学結構
好きなんだけど)
篠原 理江(三の二)

上形 智香(二の二)
(指揮棒につられて揺るる
青葉かな)

渡辺 ちひろ(二の七)
(クラス替え運の悪さを恨
んでは見つめる背中のい
ない教室)

秀作賞
上形 智香(二の二)
(タンジェントサインコサ
イン消えていく数学結構
好きなんだけど)
篠原 理江(三の二)

☆第三十五回千代女少年少女全国俳句大会

高校生の部 特選

川股 冴子(二の二)

(青葉風化学記号を一夜つけ)

仁平 朱美(三の三) 佳作

(地球ごと乗っ取るやうな

青葉かな)

☆全国子ども作品コンクール俳句の部

奨励賞

仁平 朱美(三の三)

(点滴の無機質な音瀬祭意)

☆第二十二回全国高等学校文芸コンクール

俳句の部 入選

藤貫 知美(三の五)

(天窓を横切ってをり蜘蛛の糸)

☆斎藤茂吉記念 第十四回中川町短歌フェスティバル

小中高の部 最優秀賞

川股 冴子(二の二)

(空腹に負けじとデッサン

三時限静かに微笑むミロ

のウィーナス)

佳作

篠原 理江(三の二)

(期待する丸い瞳に負けまし

た膝上の猫に刺身一切れ)

廣澤 芳恵(三の三)

(百合なんてもったいない

わとつむむいてはにかむ

母は少女のように)

☆第四回「現代ジュニア俳句コンクール」

優良賞

上形 智香(二の二)

(白墨の筆庄強く花曇り)

廣澤 芳恵(三の三) 佳作賞

(因数分解に汗をかくケラ

ス)

坪田 彩乃(三の四)

(てふてふの羽音運びし「好

き」の文字)

☆第十三回「与謝野晶子短歌文学賞 青春の短歌」

入選

飯島 智子(二の六)

(水戸線の電車の窓に映る影

私は私でナイカモ知レス)

☆第十一回長塚節文学賞

入選

高校生活短歌の部

齋藤 雅弥(二の二)

(帰り道寒い中を急ぎ足乾

いた風をからませながら)

仁平 朱美(三の三)

(北風が落ち葉を拾い集めて

も私の心は空っぽのまま)

高校生俳句の部 入選

仁平 朱美(三の三)

(絵の具無きパレットひと

つ北斎意)

飯島 智子(二の六)

(髪を切りスキップしたら

風光る)

☆第八回虚子・こもろ全国俳句大会

高校生の部 佳作

田口 知美(二の三)

(蒲公英を花瓶にさして始

業式)

坪井 早紀(二の二)

(びったりとよりそい春を

待つ兔)

飯島 智子(二の六)

(ああ家山子お前の横に僕

はいる)

仁平 朱美(三の三)

(スチール缶のコーンポタ

ージュ夜かな)

(稲妻やフランスパンのひ

とかげら)

☆第三十八回全国学生俳句大会

入選

仁平 朱美(三の三)

(思惑を源氏蛭がはぐらかす

な余白)

佳作

(ビー玉に銀河ひとつぶ閉

じ込めて)

☆第八回常陸国・小野小町文芸賞

特別賞

短歌の部

安生 美穂(二の五)

(青い空蝉の鳴き声しみ渡

り数式にらむ夏の教室)

テスト

仁平 朱美(三の三) 佳作

(藤原の敏行が詠んだ風の

音は手話であなたに伝わ

るかしら)

塚原 佑果(一の七)

(雨上がり水面の校舍を飛

びこえる紺のスカート風

をはらんで)

☆第十二回「はがき歌」コンテスト

入賞

小倉 里美(二の七)

(カチカチとシャーペンな

らす安心感くり返し刻む

心のリズム)

卒田 彩乃(三の四)

(暮れ始める色に隠れて帰

ろうか初めてつないだ君

の左手)

俳句の部 特別賞

沼田 里沙(二の二)

(ペン先が擦れて仰ぐ鯛雲)

大森 美保(二の二)

(八月の片道切符の思い出が

さいふの中で眠る二期学)

川股 冴子(二の二)

(星月夜今日も心にしまい

込む欠けた何かを補うた

めに)

小倉 里美(二の七)

(カチカチとシャーペンな

らす安心感くり返し刻む

心のリズム)

卒田 彩乃(三の四)

(暮れ始める色に隠れて帰

ろうか初めてつないだ君

の左手)

俳句の部 特別賞

沼田 里沙(二の二)

(ペン先が擦れて仰ぐ鯛雲)

柴崎 幸奈(二の二)

(秋風が私の眠りを誘ってる)

玉尾 静香(二の二)

(夕焼けに君とわたしと影

ふたつ)

山田 陽平(二の二)

(セミ時雨方程式が解けま

せん)

野口 祐矢(二の二)

(風鈴のちりんと鳴れり五

時限め)

根本 知尋(二の二)

(授業中ふと目の先に赤と

んぼ)



- 藤澤 仁見(二の二)
- (電子辞書駆使してふける秋の夜)
- 本橋 歩(二の二)
- (月光る寂しきほどの静けさに)
- 平間 理央(二の三)
- (ちぢろ虫一人起きてる午(二時))
- ☆第六回りり俳句大賞
- 金賞
- 悴田 彩乃(三の四)
- (食べかけのフランスパンや文化の目)
- 大和田 沙貴(二の二)
- (数え日の母の背中にありがごと)
- 篠原 理江(三の二)
- (秋の蝶君を諦めたぐなくて)
- 廣澤 芳恵(三の三)
- (薫風や宛先のない手紙書く)
- 藤貫 知美(三の五)
- (シリウスのしっぽつかんで冬の海)
- 上形 智香(二の二)
- 銅賞
- (星屑を少しずつ呑む百合の花)



- 仁平 朱美(三の三)
- (蛇口からぽつと一滴祭笛)
- (蠍座に一番近い夏木立)
- 池田 由樹(一の二)
- (語尾ながき古典の先生春隣)
- ☆第十八回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞
- 佳作特別賞
- 藤貫 知美(三の五)
- (春告げる草はちょこんと居眠りす)
- 悴田 彩乃(三の四)
- (青春の味はこれかと青林檎)
- (青座に一番近い夏木立)
- 廣澤 芳恵(三の三)
- (ヒロインの私が見えて三尺寝)
- 大和田 沙貴(二の二)
- (口実に頼ってばかりのてんとう虫)
- ☆杉原千畝ウィーク二〇〇七・短歌大会
- 勇気賞

- 廣澤 行洋(二の二)
- (文化祭で六千本の空き缶を集めて思ひジザの重さを)
- ☆第五回えひめスポーツ俳句大賞
- 一般の部 入選
- 仁平 朱美(三の三)
- (燕の巢体育館に建設中)
- ☆第四回茨城県連句大会
- 筑西市市長賞
- 藤貫 知美(三の五)
- (ガラス玉コロコロコロリ秋来たる)
- 連句会長賞
- 池田 由樹(一の二)
- (通知票人は数字じゃ計れない)
- 宮下太郎賞
- 川股 牙子(二の二)
- (透明な風を運んで赤トンボ)
- 入選
- 野手 大輔(一の二)
- (勉強だ)そうは言っても夢の中)
- 大森 一輝(一の六)
- (異常気象地球も僕も倒れそ)
- 大和田 麻未(一の七)
- (深爪のじんじん痛む暮の秋)

- 生井 茜(二の三)
- (少しだけ背のびしてみたほろ苦さ)
- 中里 大輔(二の四)
- (恋愛がゼロを受験のせいにする)
- 大和田 沙貴(二の五)
- (傷口にホットココアが染みるだけ)
- 安生 美穂(二の五)
- (消しゴムが小さくなって秋熱し)
- ☆第四回中部大学国際理解短歌コンテスト
- 特別賞
- 篠原 理江(三の二)
- (「翻訳家」夢に小さく付け足した異国生まれの話に出逢って)
- 小倉 里美(二の七)
- (DVD自宅でみながら耳すます知ってる単語に心が踊る)
- 悴田 彩乃(三の四)
- (時差越えてメールで届く友の声地球が少し小さくなった)

- (世の中の淋しきなんて知らないと傍らに添う首輪のない猫)
- (板ガムに私の中の理不尽を詰め込むように緩やかに噛む)
- 俳句部 特選
- 廣澤 芳恵(三の八)
- (蜘蛛の足せかせか不登校日和)
- ☆第三回「高校生川柳コンクール」
- 入賞
- 和田 健(一の六)
- (消しかすとむなしさ残るテスト後)
- ☆第七回田捨女青春俳句祭
- 入選
- 悴田 彩乃(三の四)
- (毛糸玉編む嘘も真も受け入れて)
- 藤貫 知美(三の五)
- (目の端に透明な空卒業す)
- ☆龍谷大学第五回青春俳句大賞
- 高校生の部 入選
- 上形 智香(二の二)
- (遠泳やきりりと結ぶ帽の紐)
- ☆第二回国民文化祭・とくしま二〇〇七文芸祭
- 短歌部 特選
- 仁平 朱美(三の三)

☆第十回神奈川大学全国高校生俳句大賞

悴田 彩乃(三の四)

(夏めいて拝啓母上様と書く)

(三度目の兄弟喧嘩ラムネ飲む)

(花董手のなる方へただ進む)

一句入選

染谷 啓 (二の二)

☆第一回のちと献血俳句コンテスト

審査員(篠まじか) 特別賞

悴田 彩乃(三の四)

(麗らかに光集めて献血車)

☆ニッケPureHeart

エッセー大賞

飯塚 千尋(二の五)

●その他

☆青春応援メッセージ

優秀賞

箕輪 智花(二の四)

(Strong Person

強い人とは、力の強い者ではなく、自分の心に素直になる

定時制

ことができる人。また見栄をはずずに、ありのままを見せる人。

◎運動部関係

☆全国定時制通信制総合体育大会茨城県予選会

●陸上

男子の部

走高跳 第二位

坂本 アロイシオ(四年)

川又 伸治(二年) 第三位

円盤投 第三位

渡邊 裕二(四年)

女子の部

一〇〇MH 第二位

保坂 雅織(二年)

●ソフトテニス

女子個人の部 第三位

酒井 紫帆(二年)

林 夏巳(二年)

●柔道

男子個人の部 第三位

須藤 紘彬(三年)

●バドミントン

男子個人の部 優勝

真田 一将(二年)

☆全国定時制通信制総合体育大会出場

男子陸上の部

走高跳

坂本 アロイシオ(四年)

川又 伸治(二年)

円盤投

渡邊 裕二(四年)

女子陸上の部

一〇〇MH

保坂 雅織(二年)

女子ソフトテニス個人の部

酒井 紫帆(二年)

林 夏巳(二年)

男子柔道個人の部

須藤 紘彬(三年)

男子バドミントン個人の部

真田 一将(二年)

☆茨城県高等学校校定時制秋季体育大会

●サッカー

男子個人の部

高島 崇(四年)

石島 祐基(四年)

渡邊 裕二(四年)

坂本 アロイシオ(四年)

川股 裕也(三年)

渡邊 徹(三年)

関 竜也(三年)

坂入 一生(三年)

須藤 紘彬(三年)

川又 伸治(二年)

●ソフトテニス

男子個人の部

土田 真也(三年)

飯塚 啓輔(三年)

女子個人の部

酒井 紫帆(二年)

林 夏巳(二年)

●柔道

男子個人の部

須藤 紘彬(三年)

◎文化部関係

☆第二回全国高校生短歌会(短歌甲子園) 盛岡

団体戦 準優勝

北島 訓子(四年) 中堅

(光る風背中を押してくるから一段とはして君に会いた)

柳田 恵理(四年) 大将

(そよ風が君の笑顔を呼び込んでゆいゆい歩く春の下校路)

石島 祐基(四年)

渡邊 裕二(四年)

坂本 アロイシオ(四年)

川股 裕也(三年)

渡邊 徹(三年)

関 竜也(三年)

坂入 一生(三年)

須藤 紘彬(三年)

川又 伸治(二年)

●ソフトテニス

男子個人の部

土田 真也(三年)

飯塚 啓輔(三年)

女子個人の部

酒井 紫帆(二年)

林 夏巳(二年)

男子個人の部

須藤 紘彬(三年)

☆第十回全国高校生俳句選手権大会(俳句甲子園)

権大の部

坂入 一生(三年)

(送信のボタンは軽し青葉風)

他

☆第二二回国民文化祭・とくしま二〇〇七文芸祭短歌大会

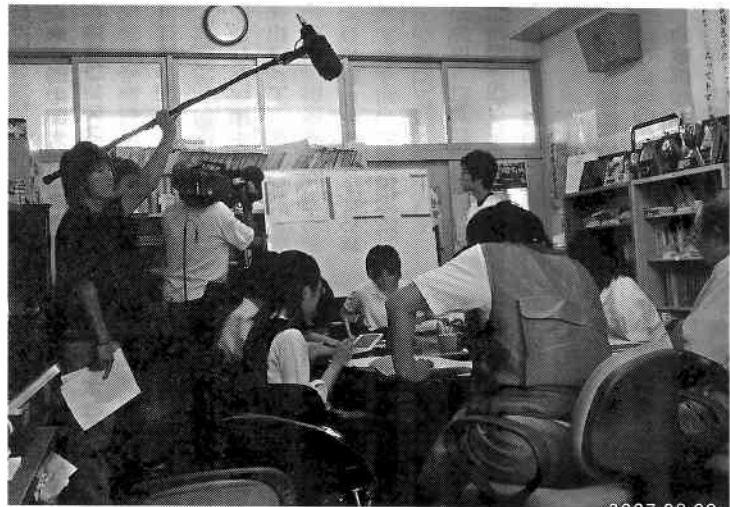
高校生の部

柳田 恵理(四年)

特選

北嶋 訓子(四年)

(先生の黒きコートや陽のさざり)



NHK 松山の取材を受ける文芸部

報 西 会 報

鈴木 兼三郎 (二年)
 (子育てを済ませた後の中年の青春此所に定時制の門)

北嶋 訓子 (四年) 入選
 (夕焼けて手持ちぶさたのケータイを開いては閉じ閉じては開く)

(明日には終わってしまう今日だからこの秋空を瓶詰めにする)

☆第二十一回東洋大学現代学生百人一首 入選

渡辺 徹 (三年)
 (大好きな君の隣に行きたくてらせん階段一気に登る)

☆第二回全国高等学校文藝コンクール 入選

北嶋 訓子 (四年)
 (風鈴のちりと鳴った昼下がり伸びた前髪切りに行こうか)

☆第二十回学校対抗俳句の甲子園 優勝

北嶋 訓子 (四年)
 (青色のフェンスを越えて冬来たる)

坂入 一生 (三年)
 (十六夜に四つ這いで見る大海図)

柳田 恵理 (四年)
 (真実はひとつじゃないよ美南天)

☆第八回小野小町文芸賞

短歌の部 入選

木村 紬美 (二年)
 (初めての仕事を終えて校門をくぐれば優しい夜の学校)

川又 伸治 (二年)
 (現場での父の背中は猫背でも大きく見えた秋風の中)

吉村 園子 (一年)
 (還暦を過ぎた私は女学生町内会の話題をもちう)

☆第八回若山牧水青春短歌大賞 優秀賞

北嶋 訓子 (四年)
 (深爪のじんじん痛む左手のひとさし指の先に居る秋)

石井 亨 (二年) 佳作賞

(二人にちは甘いドロップくれた君あの時の味歌で返すよ)

江田 容子 (二年)
 (なぜだろう五十過ぎてははずなのに留守番もできない私の親父)

鈴木 兼三郎 (二年)
 (高校の期末考査というものに初めて向かう昂ぶる心)

須藤 紘彬 (三年)
 (眼い目をこすりながらも定時制窓辺に光る月の輝き)

渡辺 徹 (三年)
 (オレンジの花が好きだと言ったから香りを添えて金木犀の花)

柳田 恵理 (四年)
 (秋雨の夜の教室ひんやりと鉛筆の音答案用紙)

永木 友広 (四年)
 (定時制放課後帰る冬夜空名もなき星に自分重ねる)

高橋 朋樹 (四年)
 (仕事して木枯らし受けて類染めてバイクでくぐる定時制の門)

渡辺 愛子 (四年)
 (友達がいとも勇気をくれるけど一歩踏み出す根性がない)

☆茨城県芸術祭参加短歌大会短歌大会賞

箱守 大輔 (四年)
 (重力に逆らい夜空に舞い上がる希望を乗せた無数の光)

秀作賞
 石島 佑基 (四年)
 (夏が来た愛しの夏がやってくるた入道雲にキスしてやろう)

渡辺 徹 (三年)
 (幾千の星の中から一つだけ私に光る星を見つけた)

永木 友広 (四年)
 (夕日背に校門くぐり胸張ればも一つの俺の今日が始まる)

☆第十一回長塚節文学賞短歌部門 入選

石井 亨 (二年)
 (働いて学校行って帰宅して畳の上に大の字となる)

渡辺 美幸 (三年)
 (夕時雨さらりさらりと人漏らす寄り添う傘に場所求めて)

須藤 紘彬 (三年)
 (励ましを背中に受けて校門をくぐる夕陽の中にある夢)

箱守 大輔 (四年)
 (親方に残業しろと言われても俺には好きな学校がある)

☆第二十八回全日本短歌大会(学生の部) 佳作賞
 箱守 大輔 (四年)
 (ポケットに夢のクレヨン詰め込んで光の壁に虹を描こう)

北嶋 訓子 (四年) 奨励賞
 (何もかも爽やかとなる何もかも信じられない秋風の中)

柳田 恵理 (四年)
 (「また明日」石ころ蹴ってつぶやいて空見上げたら一番星だ)

渡辺 愛子 (四年) 他一首
 (がんばれと友の背中を押したとき笑顔の中に涙こぼした)

☆第十八回上田三四二記念小野市短歌フォーラム 最優秀賞

坂入 一生 (三年)
 (コーヒーに砂糖もミルクも入れないで背伸びしてみる二度目のデート)

藤井 美幸 優秀賞
 (筑波峰を大きく包む入道雲は私を抱くあなたのようにだ)



定時制 体育祭

☆杉原千畝ウィーク二〇〇
五・短歌大会

佳作賞

大塚 朱美(二年)
(戦争ってなんであるのか
わからない話し合うだけ
じゃダメなのですか)

柳田 恵理(四年)
(影踏みをしながら帰る秋
の暮)

☆第三十八回全国学生俳句
大会

北島 訓子(四年)
特選

☆第六回同志社女子大学
「SEITO百人一首」
入選

北島 訓子(四年)
(青色のフェンスを越えて
冬来たる)

☆芭蕉始塚忌全国俳句大会

須藤 絃彬(三年)
(しわくしゃのみんなの笑
顔に会えるから今日もく
ぐるよ定時制の門)

大垣市議会議長賞
北島 訓子(4年)
(未送信メールそのまま蟻
眼る)

☆斎藤茂吉記念 第十四回中
川町短歌フェスティバル

小中高の部 佳作賞

坂入 一成(三年)
(青春のゆの字の部分に差
し掛かり見えてきたもの
見えなくなるもの)

柳田 恵理(四年)
(歪んでる世界を泳ぐオッ
トセイ)

☆第三十五回千代女少年少
女全国俳句大会

☆第八回虚子・ころも全国
俳句大会

佳作

須藤 絃彬(三年)
(億千の星をながめて息白し)

北嶋 訓子(四年)
(筆庄の強く青葉の揺れて
居る)

坂入 一生(三年)

(咳つれてオーケストラが
始まりぬ)

坂入 一生(三年)

(会話には飛び込めなくて
青葉冷)

☆第十八回伊藤園おくいお
茶新俳句大会

佳作特別賞

石井 亨(二年)
(稜線に鉄橋つぎだす青風)
蜘蛛の網)

川又 伸治(三年)

(現場まで父と一緒にの夕立
かな)

関 竜也(三年)

(戦場で愛を掴んだ男たち)
坂入 一生(三年)
(建てつけの悪いふすまや
梅香る)

市村ゆかり(OB)
(風呂場から百を数えて冬
深む)

☆全国子ども作品コンクー
ル俳句の部

入選

坂入 一生(三年)
(ふらここや言ひたきこと
の見つからず)

関 竜也(三年)

(無気力な月をひとりで見
ていた)

北嶋 訓子(四年)
(縁側で足を投げ出す秋の花)

川股 裕也(三年)

(意の如くならぬパソコン
蜘蛛の網)

☆第七回田捨女青春俳句祭

優秀賞

柳田 恵理(四年)

(明日へのチケット透かす
月明かり)

☆第四回鬼貫青春俳句大賞
(三〇句一組)

優秀賞

北嶋 訓子(四年)

「秋が居る」
(天高し左足から踏み出そう)
(糸瓜急や遅刻寸前滑り込む)

(ペランダに五人並んで柿
熟るる) 他二十七句

☆第六回りんり俳句大賞

柳田 恵理(四年)

(流星や着信音は掻き消えて)

須藤 絃彬(三年)

(蜘蛛の子と禅問答を始め
けり)

北嶋 訓子(四年)
(信号が青になります春隣)

☆第九回中棚荘・初恋はが
き大賞

特別賞

坂本アロイジオ(四年)
(初恋は花火の下の小指かな)

須藤 絃彬(三年)

(初恋は群青色の瞳かな)

☆第四回茨城県連句大会

入選

坂入 一生(三年)

(鈍行に置き捨てられて秋
の星)

渡辺 徹(三年)
(タンポポのアスファルト
からこんには)

☆第5回わたしの主張が
まち筑西語るへの集い

下館商工会議所 会頭賞
保坂 雅織(三年)

海老原 孝

篠原理江(三の二)

編集後記

一年ぶりに編集に携わり
ました。けっこう忘れてい
ることが多いことに驚きま
した。何とか割付を終了し
たものの、時すでに遅しと
いう感じで、また戸頃印刷
所さんにはご迷惑をかける
結果になってしまいました。
忙しい中、無理に記事をお
願いした方々のためにも、
三月一日(土)に発行でき
ればラッキーです。もし、
間に合わなかったときはゴ
メンナサイ。そうならない
ことを祈るばかりです。今
回も多くの方々の協力によっ
て何とか完成させることが
できました。本当にありが
とうございました。

(皆川記)

編集委員

清水 順子

皆川 徹

佐藤 伸彦

海老原 孝

篠原理江(三の二)

写真提供 鈴木写真館

